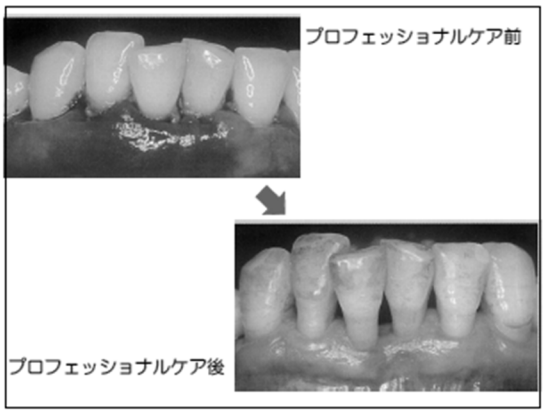
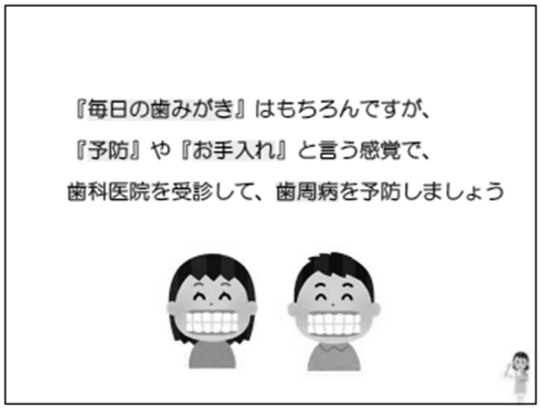

歯のクリーニング
プラーク(歯垢)
歯石


プロフェッショナルケア前
プロフェッショナルケア後


『毎日の歯みがき』はもちろんですが、
『予防』や『お手入れ』と言う感覚で、
歯科医院を受診して、歯周病を予防しましょう


ご清聴ありがとうございました。

4.8.2　動画Ｄおよび動画Ｅを用いた歯科保健教育用シナリオ

令和４年度に開発した動画Ｄと昨年度開発した動画Ｅを使用して、50 分以内で実施できる水平展開用のシナリオを作成した。動画 D は歯科衛生士のインタビューを通してキャリア教育に、動画 E は歯周病予防を目的とした歯科保健教育に有効である。両動画は本校のホームページよりご覧頂きたい。

【導入】
今日はお口の健康について、そして皆さんの将来についてお話します。
まず、皆さんはお口の健康について考えた事がありますか？
口の事って？自分は毎日歯磨きしているし、むし歯は無いし、大丈夫と思ってないですか？
お口の健康はむし歯だけではありません、今から一緒に動画を見ていきましょう！

【動画Ｅ上映】約 12 分

どうでしたか？衝撃的な場面もありましたね！
お口の健康はむし歯だけではありません、歯周病はとても怖いのです。
動画にあった様に、高校生を対象とした歯周病の調査で、高校生の４５％が歯周病の初期状態である事がわかりました。
皆さんは大丈夫ですか？
ここでおさらいをしておきましょう。
・むし歯も歯周病も歯垢・プラークの中の細菌が原因です。
・歯周病は初期段階では歯肉の腫れや出血ですが、進行すると歯周ポケットを形成して骨を溶かしていきます。歯周病は進行しても痛みを伴わないので、自分ではなかなか気付きにくいです。骨が溶けて歯がぐらつき出して初めて自分で気付きます、多くは４０歳を過ぎて気付きます。しかも、一度溶けた骨は元には戻りませんから、ぐらついた歯は歯医者さんでは抜くしかありません。
・歯周ポケットって言葉が出てきましたね、最近はテレビの歯ブラシのコマーシャルでも出ています。歯茎の炎症によって出来てしまった、歯と歯茎の深い溝でしたね。この歯周ポケット中は細菌（ばい菌）が繁殖しやすく、細菌が出す毒素などが毛細血管に入り込み全身に回ります、その結果として様々な全身の病気を引き起こします。お口の健康は全身の健康に繋がっているのです。
・歯周病やむし歯にならない為には歯垢プラークを除去する事、プラークコントロールが大事です。皆さんの中で歯を磨かない人は居ないと思いますが、しっかりとプラークコントロールが出来ているかが重要です。一日に一度はしっかり時間をかけて、特に歯と歯茎の境を意識したプラークコントロールを行いましょう、プラークコントロールに自信が無い人は、

歯科医院を受診して歯科衛生士さんに診てもらうと良いでしょう！
目指すのは動画にあった固く引き締まった健康な歯茎です！今から健康な歯茎作りを意識しましょう。毎日のプラークコントロールを頑張ってください！

続いて観てもらう動画は「歯科衛生、歯科技工士っていう素敵なお仕事」です。
皆さんは高校卒業したら大学や専門学校に進学する人、就職する人、また違う道に進む人、それぞれだと思います。
高校一年生の皆さんは、そろそろ将来の自分を考える時期にきています。
今回は歯科衛生士さん歯科技工士さんのお仕事を見てみましょう

【動画D上映】約 19 分

歯科衛生士さんや歯科技工士さんはお口の健康を守る大事なお仕事です。
仕事の楽しさや魅力、やりがいと資格の有用性また国家資格をインタビューで話していましたね。
将来の事を考えるのはチョッピリ不安かもしれませんが、とても楽しみな事と思います。
自分の好きな事、得意な事、また夢に向かって将来の設計図を描ける皆さんは沢山の可能性を秘めていると思います。
これから自分はどうするのか？何になり何をしたいのか？を考えてみて下さい。
そして目標をもって何を今するべきかを考えて下さい。
今回は歯科衛生士さんと歯科技工士さんのお仕事を見てもらいましたが、これをきっかけにして自分で色々なお仕事を調べて将来を考えてみましょう！
そして、充実した高校生活を送って下さい！

5.　実証報告

5. 実証報告

今年度は、前章で報告した「非認知能力育成プログラム（1 年次分)」の有効性を検証することを目的に、実証授業を実施した。

本章では「非認知能力育成プログラム（1 年次分)」実証授業の実施概要と実施結果を報告する。

5.1 専門学校における非認知能力育成プログラム実証授業概要

プログラムの開発実証は、福岡歯科衛生専門学校においてグループワークの授業の一部として行っており、1 年次 22 コマ（1 コマ 90 分）のうち 20 時間が本事業分である。残る 2 コマは従来どおりの内容を実施した。本プログラムの目標は「社会性と協調性の基本となるコミュニケーション能力を身につけ、主体性をもって参加し、チームワーク力を養う。」ことである。

開発したプログラムの指導案やスライドの詳細は、4 章開発報告を参照いただきたい。

22 コマ：1 コマ 90 分

時数	項　　目	学習方略	該当する非認知能力
1,2	1.新入生特別講義（歯科衛生士の魅力）	歯科衛生士版人生ゲーム	協調性、対人関係スキル
3,4	2.歯科衛生士を目指したきっかけを振り返る	ヒストリーライン	自己理解、度胸
5,6			
7,8	3.他者理解のためのレクリエーション	ウォークラリー	協調性、対人関係スキル
9,10	歯科衛生士になるモチベーションの維持	他己紹介	社会／他者理解、度胸
11,12			
13	歯科衛生士になるモチベーションの維持*	卒業生による講話*	自発性、主体性、度胸
14		歯科診療所見学実習*	
15	4.目標となる歯科衛生士像を考える①	歯科保健教育動画 D,E	社会／他者理解 対人関係スキル
16,17	目標となる歯科衛生士像を考える②	グループワーク(KJ 法)	
18	5.自己の非認知能力を振り返る	リフレクション、 アクションプラン	自己理解
19-22	6.歯周病について今からできること	グループワーク(KJ 法)	問題解決力、批判的思考力

*：従来から実施しており、開発・実証報告からは除外

5.2　福岡歯科衛生専門学校における実証結果

5.2.1　学生へのアンケート調査結果

プログラムの実施前後に行ったアンケート調査結果を掲載する。

(1)　調査対象

令和 7 年度の福岡歯科衛生専門学校 1 年生 57 名

(2)　調査方法

調査は、同じ内容のアンケートを用いてプログラムの項目ごとに実施し、担当教員より Google フォームによるアンケート URL を配布した。調査結果のうち、「非認知能力育成プログラム」の開始前（以下、4 月入学直後）と「他己紹介」後、「1 回目のグループワーク」終了後（以下、10 月グループワーク後）の結果を比較した。

また、対象者の中退率を合わせて確認した。

(3)　調査項目

比較した項目は次の 2 項目であり、0%～100%の整数入力式で回答した。

1. クラスへの愛着度
2. 歯科衛生士になりたい気持ち

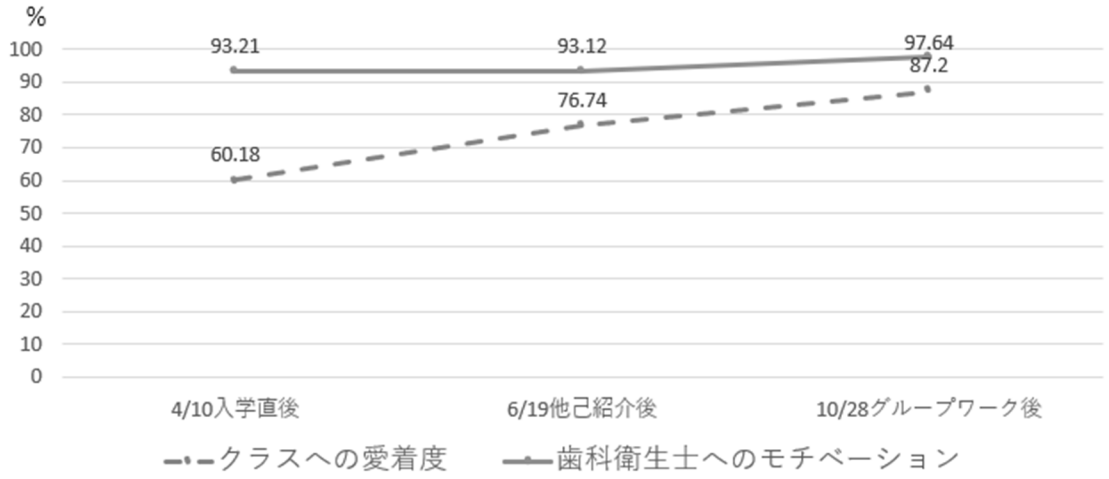
(4)　調査結果まとめ

アンケートの回収率は 4 月入学直後が 98%（56 名）、他己紹介後が 100%（57 名）、10 月グループワーク後が 96%（55 名）である。中退者は令和 8 年 1 月末現在で 1 名であり、例年よりも少なかった。

クラスへの愛着度の平均値は入学直後が 60.18%、6 月の他己紹介後が 76.74%、10 月グループワーク後が 87.20%と増加しており、入学直後と 10 月との差は統計的に有意であった（$p<0.001$）。

歯科衛生士になりたい気持ち（モチベーション）は入学当初から一貫して高く、93.21%、93.12%、97.6%と維持されていた。

クラスへの愛着度の向上が中退者の少なさにつながっていると考えられた。



【入学直後に実施した人生ゲームの感想】

- 交流が出来て楽しかった（多数、同様の回答あり）。
- 楽しかった。いろんなおだいがあったのでみんなの仲が少し深まった。
- 資格があると良いとわかった
- お金の管理が難しかった。たくさん喋れて班の子と仲良くなれた。
- お母さんありがとう！とペアの子と叫んでキャリアアップしたのが楽しかったです。
- 最後までどうなるか分からないのが楽しかった。一発逆転出来るマスがあったのも楽しかった
- みんなと出来て楽しかった。現実的に考えることが出来た。
- 歯科衛生士という国家資格を持ってればたくさん役立つしこれからの生活においてのイメージをつけることができた
- ハズレやキャリアアップなど仕掛けが多くて楽しかった。
- 大人数での人生ゲーム楽しかったです
- 楽しかったのでもう１回くらいしたいです

【他己紹介後の感想】

- うれしかった。照れた。（多数、同様の回答あり）
- 恥ずかしかったけど、まだ話せてない人とかにも自分のことを少しでも知ってもらえたかなと思いました！
- 年の違う子と、こんなふうに自分のことを紹介してもらうことがないのでとても嬉しかったです。頼りになるお姉さんになります！
- すごく照れくさかったけど自分のことを知ってくれる良いきっかけとなりました
- 自分で自覚がなかったいい所を引き出して書いてもらえて嬉しかった！
- 普段あまり自分のいい所を知る機会が少ないので他己紹介を通して知ることが出来、良かったです！

- 自分の隣で自分のことを発表されるのが恥ずかしかったけど、楽しかった！
- 自分でも気付かなかったところを見つけてくれて、嬉しく感じました。
- クラスの人たちの知らない一面が知れてよかったです
- 普段あまり話さないことを深く話せてお互い色々知れてよかったです
- 反対に、ペアの人をよく知ろうとする良い機会になって、より人のいい所を探す視点を得られたのでこれからの日常生活でも探していきたい。
- 自分の今までを簡潔に伝えるのは難しかったけど、他の人に話すことで自分がどのようなことに心が動いているかを改めて感じることができた。自分の話の中から紹介を作ってもらえることはとても嬉しかった。
- 人から見られた自分はどういう人なのかが少しわかって新鮮でした。
- 少し話しただけなのに詳しく書いてくれていて、日頃の学校生活の様子も詳しく観察してくれていて嬉しかったです。

【グループワーク：理想の歯科衛生士像の感想】

- 今日のグループワークとても楽しかったです！（多数、同様の回答あり）
- グループワーク頑張りました。班の人と協力出来たので良かったです。チームワークがとてもいい班だと感じました
- 今日のグループワークを通して、グループの人の意見や他グループの意見についていろいろと学ぶことができました。
- 新たな発見ができたり考え方を知ることが出来たので良かったです。
- 歯科衛生士に絶対なりたいです
- 立派な歯科衛生士になりたいと思いました
- 友達と毎日楽しいです
- 理想の歯科衛生士になれるように頑張りたいです
- グループワークでより班の雰囲気が良くなった気がします。
- みんなで考えたり相談し合ったりして１枚の画用紙にまとまったのでやりがいがあって凄くたのしかったです。
- 今回考えた自分のなりたい歯科衛生士像を目指してこれからの実習や座学を頑張って取り組んでいきたいと思います！
- 今回のグループワークでより具体的な理想像を思い描くことが出来ました。

5.2.2　学生へのインタビュー結果

高専連携事業として高等学校部分のプログラムを受講して本校へ入学した学生が、高等学校で受講した効果や専門学校進学後のプログラムについて感じていることを詳細に検討することを目的とする。

(1)　調査対象

令和 6 年度に福岡講倫館高等学校にて学校設定科目「健康科学β」を修了した高等学校 3 年生のうち、令和 7 年度に福岡歯科衛生専門学校に入学した 2 名。

事前にインタビューの趣旨や方法、質問項目、結果は個人が特定できない形で公表されることを伝え、同意を得ている。

(2)　調査方法

対象となった生徒へ事前に質問項目への回答を依頼し、当日は回答を見ながらインタビュワーが生徒 1 名ずつに対して個別にインタビューを行った。

(3)　調査項目

事前に生徒に提示した質問項目は以下のとおりである。

＜高校で受講したプログラムについて＞

1. 高校で歯科保健教育プログラムやキャリア教育を受けて歯科衛生士養成校に入学されましたが、実際に専門学校に入ってどう感じますか？(健康科学α・βの効果やメリットを感じますか)

＜専門学校のプログラムについて＞

1. 歯科衛生士を目指す気持ちは、人生ゲームをする前とした後でどのような変化がありましたか？具体的に教えてください。
2. 他己紹介を行ったことで、何か気づいたことはありますか？
3. ＫＪ法を行った前・後で、将来なりたい歯科衛生士像に変化はありましたか？

(4)　調査結果

1. 高校で歯科保健教育プログラムやキャリア教育を受けて歯科衛生士養成校に入学されましたが、実際に専門学校に入ってどう感じますか？(健康科学α・βの効果やメリットを感じますか)

＜A さん＞

高校生の時にキャリア教育の授業を通して基本の知識を身につけたり、実際に歯科大学に行って歯科衛生士の職業がどのようなものなのかを体験出来ました。そのおか

げで歯科衛生士の職業について具体的に知ることができ、実習が始まった今でも楽しく実習を受けられています。

＜B さん＞

う蝕や歯周病の原因などについての授業やそれについての簡単な動画を見ることが多かったので、専門学校の授業が始まってから「高校の授業でやった！」と思う場面が多く、歯科の知識に対する理解があまり難しく感じませんでした。医療の中でも歯科に関する知識は、専門学校や歯科に特化した授業などでしかなかなか学ぶことができないので、キャリア教育の授業を受けてよかったと感じました。

2.　専門学校のプログラムについてお伺いします。

（1）歯科衛生士を目指す気持ちは、人生ゲームをする前とした後でどのような変化がありましたか。（具体的に教えてください）

＜A さん＞

人生ゲームをする前は自分の興味のある職業だから目指したいという気持ちだったのですが、国家資格は一生使えるものであり、離職しても復帰しやすい職業だと知って国家資格を取れるように頑張ろうと改めて思えた授業でした。

＜B さん＞

歯科衛生士という職業は国家資格を取ることで、一度退職したり育児・出産などで休むことになっても復帰できるところが最大のメリットだと感じました。国家資格を取るために勉強を頑張りたいと思いました。

（2）他己紹介を行ったことで、何か気づいたことはありますか。（友達から紹介してもらってどう思ったか、自分が友達を紹介するにあたってどう考えたか、自己肯定感）

＜A さん＞

自分では思っていない所を長所として見つけてくれたり、自分の趣味を肯定して貰えたりしたことが嬉しかったです。逆に自分が紹介する時は歯科衛生士を目指した理由や小さい頃からの話などを細かく聞けて普段からそこまで深く細かいところまで話すことが無いので、友達についてよく知れるいい機会だったと思います。

＜B さん＞

友達から見た自分のいいところや性格など、自分で気づいていた部分と逆に他己紹介で気づいた部分がありました。また、ウォークラリーやグループワークで友達のいいところを探すことで関わる機会が増え、仲を深めることができたと思います。

（3）ＫＪ法を行った前・後で、将来なりたい歯科衛生士像に変化はありましたか。（具体的に教えてください）

＜A さん＞

私は高校生の頃から知識も技術もある、患者さんを笑顔にできる歯科衛生士になりたいと考えていました。今でもそれは変わらないですが、ＫＪ法を通して多くの人が言葉遣いや清潔感、雰囲気などを重視していることを改めて知り、人を笑顔にするにはまずは第一印象から良くする必要があると考えました。なので普段から医療人としてふさわしい身だしなみを習慣化し、身だしなみはもちろんのこと座学や実習等で知識と技術を身につけ、患者さんに頼られる、患者さんを笑顔にできる歯科衛生士になりたいと思っています。

＜B さん＞

グループでなりたい歯科衛生士像となりたくない歯科衛生士像を考えた時、なりたい像よりもなりたくない像の方が簡単に出てきてびっくりしました。世間からの一般的なイメージとして、「歯科衛生士は清潔感がある」というイメージをよく聞くことが多くて、それは逆に患者さんたちが「こんな歯科衛生士がいい」と思っているということだと思うので、なりたい歯科衛生士像として出た清潔感や言葉遣い、患者さんに対する接し方を学校で学び、なりたい歯科衛生士像になれるように頑張りたいです。

5.2.3　実証評価・総評

実証授業を行った部会員、福岡歯科衛生専門学校の教員らによる評価・総評を報告する。

1．プログラム開発・運用部会および実証校より

令和 7 年度入学の 1 年生 57 名を対象に実証授業を実施した。本年度入学の 1 年生には、高校在学中に、健康科学 α・β を受講した学生が 2 名入学している。入学から早い時期に学生間の親睦を深め、相互理解を深めることで休学・退学者を防ぎ、学習に対するモチベーションの向上に効果的であると考える。講義内容としてヒストリーラインの作成、他己紹介を行うことで、自己理解、他者との相互理解につながる。また、アイスブレイクやグループワークを通して、コミュニケーションを取り、協力して課題を解決していく過程でチームワークの形成ができたのではないかと考える。入学から現時点まで休学・退学者がほぼおらず、プログラムの内容は効果的であると評価できる。

【実証授業の内容について（改善点含む)】

〈人生ゲーム〉

・導入として、歯科衛生士の仕事内容、高齢社会における歯科衛生士の役割、社会的な需要に触れることで、将来歯科衛生士として働くイメージができた。

・本校オリジナルの人生ゲームを用いて、歯科衛生士になるまでの過程や国家資格取得者の優位性（転職、スキルアップ、活躍の幅、年収）を楽しみながら学習できた。

・本校卒業生からの応援動画（約 20 分）を見てもらい、3 年間の学生生活で一生ものの仲間ができる事を伝えた。年が近い先輩からのメッセージで、より身近に感じ、将来の歯科衛生士像を考える有意義な時間となった。

〈ヒストリーライン〉

・ヒストリーラインを作成することで、今まで歩んできた自分自身の歴史を客観的に把握することができた。

・イベント・転機やその時に感じた感情をグラフに書き出すことで自己形成のタイミングや感情の転換期を振り返ることができた。

〈ウォークラリー〉

・学校周辺をウォーキングしながらチームで協力して課題を解決することで、コミュニケーション能力や協調性、問題解決能力の向上を図った。また、福岡の歴史にも触れ、視点を変えることでいつもの通学路でも様々な発見があることを感じてもらえた。前回の授業ではグループ内で自己紹介を行い、それぞれの性格や個

性を理解したと思われるが、ウォークラリーを通して互いに新たな一面を発見することができた。

〈他己紹介〉
・他己紹介を「される側」となることで、自分では気づかなかった特徴や個性を知るきっかけになった。また、他己紹介を「する側」として他人を自分事として捉えることで他者を理解しようとする意識が芽生え、傾聴力の向上がみられた。
・表面的な面だけでなく、乗り越えた経験等を共有することで信頼関係が深まった。

〈教育動画の視聴〉
・臨床科目の講義が進んできた時期に教育動画を見せたことで、歯周治療の中での歯科衛生士の役割を理解できたと思う。また、歯科衛生士の働き方を知ることで歯科衛生士の職域の広さや時代の変化において求められているニーズについても考える機会となった。

〈グループワーク〉
・「なりたい歯科衛生士・なりたくない歯科衛生士」
夏休みの診療所見学や後期の相互実習を経て、将来どのような歯科衛生士になりたいのかをより具体的にイメージしやすくなったと思われる。
なりたい像をイメージし、実現するためにやるべきことを書き出したことで、日々の学校生活や実習での意識付けや行動変容につながるのではないかと考える。
・評価に使用したルーブリックの項目を評価しやすい内容に見直す必要がある

2．学生からのアンケート結果より

毎回の実証授業後に学生へアンケート調査を行った。内容は講義内容に沿ったものになるが、「協調性・チームワーク」「他者理解」などの非認知能力の項目に関しては高くなる傾向がみられた。6回目のGW後の結果では、初回に比べクラスへの愛着度も高値を示していることから、今後の心理的安全性や帰属意識の醸成がみられ真のチームワークの形成が期待できると考える。

また、教育動画の視聴およびグループワーク後に自由記述で感想文を書いた。口腔から全身へと繋がる健康の大切さとともに、予防における歯科衛生士の役割を再確認できたと考えられる。ライフステージに合った働き方ができる、専門分野を突き詰めていける認定歯科衛生士に興味を持ったなどの感想があり、資格取得後の働き方を想像でき、歯科衛生士を取り巻く環境を知ることができたと考えられる。これらのことから歯科衛生士業務を具体的に知ることができ、今後の学習に対するモチベーションアップに繋がったと思われる。

5.2.4　授業風景

人生ゲーム





ウォークラリー





他己紹介





GW「なりたい歯科衛生士・なりたくない歯科衛生士」





